

令和 7 年 9 月 1 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 信賀 陽子

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 みつけ Job チャレ教育について

答弁を求める者 市長・教育長

見附市は、アントレプレナーシップ教育の視点を取り入れたキャリア教育として「みつけ Job チャレ教育」を推進しています。

令和 7 年度施政方針には「起業家精神を育む『みつけ Job チャレ教育』の本格始動」と示されています。

また、令和 7 年度見附市学校教育要覧では「起業家精神・起業家的資質・能力を育む『みつけ Job チャレ教育』の推進」が掲げられ、『みつけ Job チャレ教育』では、『子どもが自ら課題を見つけること』『子どもが実社会（地域）とつながること』『子どもが不確実性の高い課題に挑戦し、失敗体験から学ぶこと』『子どもが社会に新たな価値を提供すること』を 4 つの柱として、地域の大人に学びながら子どもたちの起業家精神、起業家的資質・能力を育んでいきます。」と記載されています。

これらの内容からも、みつけ job チャレ教育は見附市らしい教育活動として重要な施策であり、市が力を入れて進めているプロジェクトと認識することができ、保護者の方からも期待の声を聞いています。

その一方で、「何を目指すのか分かりにくい」という声も聞いています。

実際に、今年度の活動計画・予定を拝見したところ、各校で独自性をもって特色のある活動や行事を計画されていることが理解できましたが、捉え方によっては内容がバラバラで目指すところが分かりにくく、学校ごとに取り組み内容に差がある印象も否めません。

このような状況から、「みつけ Job チャレ教育」をさらに発展させるための課題を整理する目的で質問いたします。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ



1 各学校の取組み状況について

- (1) 学校ごとに内容に差異がある理由をお示し下さい。
- (2) 学校ごとに内容に差異があることについて、市ではどのように考えますか。
- (3) 本事業について、各学校の担当の先生方にどのように説明をされていますか。何を指すのか、どのようなことをやるのか、具体的に説明をされていますか。

2 教職員の負担について

- (1) 各校で独自性をもって特色のある企画をしている状況から、各校の担当の先生方の見解や資質に頼るところが少なからずあり、先生方にかかる負担が大きいことが懸念されます。市では本事業に関する先生方の負担についてどのように調査をされ、どのように認識されていますか。
- (2) 教職員の働き方改革が進む中で、本事業を担当する先生方にかかる負担を減らす取り組みを市ではされていますか。されている場合、具体的にはどのような取り組みですか。

3 今後の展望について

- (1) 現在、本事業を発展させるために市民の意見を反映させていますか。どのような方法で意見を集めていますか。
- (2) 市では今後、「みつけ Job チャレ教育」をどのように発展させて行く予定ですか。それに向けてどのような取り組みをされていますか。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【2】 わくわく体験塾について

答弁を求める者 市長、教育長

「わくわく体験塾」は、夏休み中の小学生に「わくわくする体験」を見附市に関係する大人が総がかりで提供する見附市ならではの活動と認識しています。

平成 17 年の開始以降、平成 20 年は 80 講座程度の実施だったものが、現在は 180 近い講座が実施されていることが公開されている資料から分かります。なかでも、市民による講座数については当初は 30 前後だったものが、令和 5 年度以降は 100 を超える講座数となっており、市民の関心の高さや積極的な協力が伺えます。

また、参加児童数につきましても毎年延べ 2,000 人前後を維持しており、希望者多数で抽選になる人気講座もあると聞いております。

学校・保護者・地域・企業・行政が連携していることも特色としてあげられ、「みつけ Job チャレ教育」の取組みの一つとして位置づけられています。子どもたちの創造力や探求心を育み、職業への理解や働くことの喜びを学び、将来の夢の幅を広げるような体験学習講座を目指していることから、子ども達の体験活動に貢献することが期待される事業でもあります。

子ども達の体験活動は、社会性や問題解決能力を養う大切な機会であり、その観点からも「わくわく体験塾」は意義深く、未来への投資とも言える大切な事業と考えます。

さらに発展させるための課題を整理する目的で質問いたします。

1 講座募集方法について

- (1) 本年度、新規講座の開設はありましたか。
- (2) 新規講座の講座開設者に対して、市としてどのような配慮をされていますか。
- (3) 過去に実施された講座で翌年度以降に実施されなかった講座はありますか。実施されなくなった理由を市では調査し、把握されていますか。

2 参加申込や参加状況について

- (1) 申込希望者が定員数を超えた場合、市ではどのように対応していますか。
- (2) 参加申込後に申込者からキャンセル希望があった場合、市ではどのように対応していますか。
- (3) 申込後のキャンセルについて市ではどのように考えていますか。

3 講座実施後の参加者対応について

- (1) 講座実施後に参加者の感想や意見を求めていますか。
- (2) 参加者の感想や意見をどのように活用していますか。

4 講座実施後の講座開設者への対応について

- (1) 講座実施後に講座開設者の感想や意見を求めていますか。
- (2) 講座開設者の感想や意見をどのように活用していますか。

5 今後の展望について

- (1) 講座数はどのくらいが適当とお考えですか。
- (2) 本事業の担当職員は何人が適切と考えますか。適切と考える職員数で、かつ担当者が変わっても、本事業を継続、発展させて行くために、どのような取り組みをされていますか。
- (3) 市では今後、「わくわく体験塾」をどのように発展させて行く予定ですか。展望をお示し下さい。